

三谷商事株式会社  
株式会社NSDビジネスイノベーション

## 医療安全研修会のお知らせ(京都テルサ)

貴院ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、医療安全担当者様を対象と致しまして、事象分析手法「ImSAFER」をご理解いただくための研修会を、下記のとおり開催する事になりましたので、ご案内をさせていただきます。

つきましては、本研修会へご参加を希望されます方は、裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上 FAX (075-343-0328) にてお申込みください。

### 記

#### 【研修会名】アクシデント・インシデント事例分析の手法を学ぶ「ImSAFER」

【目的】 ヒューマンエラー発生メカニズム、事故の構造の理解を深め、再発防止策立案に向けた効果的な分析手法を学んでいただきます。

【日時】 平成 30 年 8 月 18 日 (土) 10:30 ~ 16:30 (受付 10:00~)

【場所】 京都テルサ 東館 3 階 D 会議室 京都府南区東九条下殿田町 70 番地

●JR 京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約 15 分

●近鉄東寺駅より東へ徒歩約 5 分

●地下鉄九条駅 4 番出口より西へ徒歩約 5 分

●市バス九条車庫南へすぐ

※公共交通機関のご利用をお願い致します。

【対象者】 医療機関にて医療安全管理を担当されている方。

【講師】 株式会社 NSD ビジネスイノベーション  
医療安全推進担当 田島英明

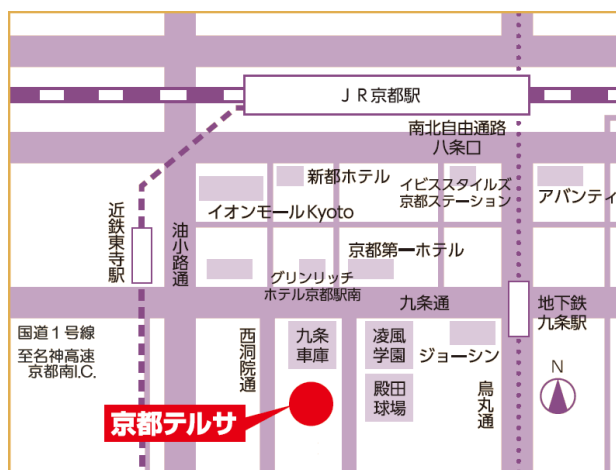
【方法】 講義およびグループでの演習

【受講料】 3,000 円/人(税込)

【人数】 30 名 (先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます)

【申込】 裏面申込用紙にて FAX (受付 FAX 番号: 075-343-0328) をお願いします。

【情報提供展示】 ImSAFER 対応ソフトウェア、事故調査制度対応ソフトウェアの展示コーナーがあります。



お問い合わせ



MITANI CORPORATION  
三谷商事株式会社

三谷商事(株)情報システム事業部 事務局: 武田  
京都市下京区西洞院通木津屋橋上ル辰巳ビル 1 F

携帯: 090-4328-7345 TEL075-343-0322/FAX: 075-343-0328

### 【研修会スケジュール】

- 受付開始：10:00～
- 講義：10:30～12:00
- 昼食・休憩：12:00～13:00（昼食は各自ご用意ください）
- グループ演習：13:00～16:15（適宜休憩）
- 発表・まとめ：16:15～16:30



### 【ImSAFER】分析手法とは

医療安全全国共同行動のテーマ「事例要因分析から改善へ」で推奨されている一手法であり、「ヒューマンエラー」や「事故の構造」を、正しい視点で捉え、効果的に事象分析するため、河野龍太郎氏<sup>※1</sup>が医療向けに開発したRCA(Root Cause Analysis)の一つです。背後要因を探索するための「P-mSHELL」や、有効な対策立案を検討するための「STEP/4M」など、分析作業を支援するツールが組み込まれ、人間の思考過程の抜けを防ぎ、効果的な対策へと導いてくれます。また、分析作業がわかりやすく手順化されているため、現場で働く職員(スタッフ)の立場で事象分析することが可能です。自分たちの問題を自らが分析・対策検討することは、「なぜその対策が必要であるのか？」が明らかになることで、「KNOW WHY」の知識が身につく、対策への取組姿勢が真剣且つ、積極的になるなど、職員の意識改革へと繋がります。

※1)自治医科大学 医学部医療安全学 元教授

手順1:事象関連図作成



手順2:問題点の抽出



手順3:背後要因推定



手順4:対策の列挙



手順5:対策の決定



手順6:対策の実施



手順7:対策の評価

## 【分析手法研修会 京都テルサ会場】

参加申込み(事務局行き)

【FAX 番号】：075-343-0328

開催日	平成30年8月18日(土)		
貴施設名			
住所	〒 -		
代表者メール	@		
連絡先(TEL)		連絡先(FAX)	
参加者ご氏名		代表者チェック	所属・役職
1	フリガナ		
2	フリガナ		
3	フリガナ		

※1) 御参加の方が複数の場合、申込窓口の方(代表者欄)へチェックを入れてください。

※2) セミナー申込受理後、**受講票をメールにて代表者の方**に送付させていただきます。受講料は当日持参をお願い致します。

※3) 1病院様、3名様迄でお申し込み宜しくお願い致します。(3名様以上ご希望の場合は担当までご相談ください)

※4) 当日釣銭のないように、御準備をお願い致します。